『いろどり』コース立ち上げ支援における参加機関募集要項

1．募集内容

　将来日本で生活する/働く日本語人材に対する日本語教育を実施している機関(学校)に対し、国際交流基金日本語国際センターが開発した『いろどり　生活の日本語』\*を主教材として用いたコースの立ち上げを支援します。以下の内容を読み、申請書に記入の上、下記問い合わせ先までお送りください。実施可否を検討の上、返信いたします。





\*『いろどり』とは…

日本語コースブック『いろどり　生活の日本語』は、外国の人が日本で生活や仕事をする際に必要となる、基礎的な日本語のコミュニケーション力を身につけるための教材です。

日本での毎日が、隣人や同僚など身の回りの人たちとの会話や交流を通じて彩り（いろどり）豊かなものになることを願い、それを言葉やコミュニケーションの面からお手伝いしたいという想いを込めて、このタイトルをつけました。

これから日本に来る人は、来日までに「できる」ようになったほうがいいことを学ぶために、すでに日本で生活している人は、自身の日本語力を確認し、さらに「できる」ことを増やすために、それぞれの目的に応じてご利用いただけます。

**各課や音声ファイルは全て無料でこちらからダウンロードできます。**

<https://www.jpfbj.cn/irodori/>

**また、『いろどり』に関するQ＆Aも申請前にご確認ください。**

　https://www.irodori.jpf.go.jp/faq.html

2．応募条件

　(1)外国人材送出し機関または高等職業学校であること

　(2) 『いろどり』についてあらかじめ理解し、『いろどり』を主教材とするコース開設を強く希望していること

　(3) JFスタンダードやCan-doと言った国際交流基金の日本語教育理念\*に賛同していること

\*「JFスタンダード」や「Can-do」についての詳細はこちらをご覧ください　（<https://jfstandard.jp/top/ja/render.do>）

3．事業内容

　(1)国際交流基金北京日本文化センター担当職員、派遣日本語教育専門家が貴機関に訪問し、行われている授業や施設を見学し、その他貴機関についてお尋ねします。

(2)その後、日本語教師や担当者と相談会を開き、大まかなコース開始時期を検討します。

　(3)大まかなコース開始時期が決まったら、オンラインにより相談を続けます。

　(4)実際にコースが開始するまでをお手伝います。

※原則コース開始までを事業対象としますが、コース中・終了後も相談可能です。

4．支援内容の例(主としてオンラインでのやり取りとなります)

(1)『いろどり』の内容、使い方解説

　(2)教案の書き方

　(3)コースデザインの方法

　(4)授業の進め方

　(5)PPTの作り方

※当支援は、北京日本文化センター日本語教育専門家が授業をするものではなく、申請機関の『いろどり』コース立ち上げを支援するものです。

5．費用

　無料

6．申請書送付、問い合わせ先

　irodori@jpfbj.cn　担当：浦井

北京日本文化センター

2022年4月